

大谷学会

◇研究発表会

十月二十一日(金) 午後一時～

於 講堂

即時繰り返し学習による英語発話への

影響

本学准教授 西川幸余

欧米と日本の「日本学」研究方法の違いについて

本学准教授 アマミチヒロ

ドイツ帝国におけるコマンド・テクノ

ロジーの嚆矢―素材試験局の誕生と

その活動をめぐって―

本学講師 前田充洋

マンガの分析手法と社会への応用

本学教授 柴田みゆき

※西川准教授とアマ准教授の発表につ

いては、今号に発表要旨として掲載

している。その他の発表については、

次号以降に論文として掲載する予定

である。

真宗総合研究所

◇委員会

七月十二日(火) 午後四時三十分～

於 博綜館第五会議室

・『真宗総合研究所研究紀要』投稿ガイ

ドラインについて

・その他

七月十三日(水)～十八日(月)

書面会議

・『真宗総合研究所研究紀要』投稿ガイ

ドラインについて

九月八日(木) 午前十時三十分～

於 博綜館第五会議室

・特別研究員の委嘱について

・二〇二二年度研究組織について

・東京分室PD研究員の公募について

・一般研究(予備研究)の募集について

・特定研究・指定研究・資料室研究計

画作成及び研究費の管理について

・『真宗総合研究所研究紀要』査読・校

閲について

・その他

十一月二日(水) 午後四時三十分～

於 博綜館第五会議室

・『真宗総合研究所研究紀要』第四十号

査読・校閲結果について

・二〇二二年度研究組織について

・二〇二二年度真宗総合研究所研究体

制について

・その他(報告事項)

真宗学会

◇第一回例会(卒業論文梗概発表会)

十月六日(木) 午後六時～

於 慶開館K二〇七教室

親鸞聖人の往生観

― 往生の具体相を問う―

本学大学院修士課程第一学年

一條顯壽

親鸞の「宿業観」

本学大学院修士課程第一学年

岩坂久遠

差別を克服する視点 真宗の立場から

本学大学院修士課程第一学年

◇大会

藤永樹心

十月二十五日(火)午後三時

於 響流館メディアホール

エビクテトスと清沢満之

哲学者 國方栄二

乗托妙用の自己の自覚―落在と自在―

本学准教授 西本祐攝

◇修士論文中間発表会

十一月九日(水)午後二時四十分

於 二号館二〇一教室

親鸞における悲願について

本学大学院修士課程第二学年

元氏 唯

看護師が読む『歎異抄』第四章

本学大学院修士課程第二学年

平川弘美

親鸞における「大行」

本学大学院修士課程第二学年

英 貴志

◇第二回例会

十一月三十日(水)午後二時五十分

於 尋源講堂

『行巻』『五会法事讃』における親鸞の視点
―法然・聖覚との比較を通して―

本学大学院博士後期課程第二学年

山雄優生

善導の名号観―『観経疏』を中心に―

本学大学院博士後期課程第一学年

呂 振民

◇卒業論文中間発表会

十二月八日(木)午後六時

於 慶聞館K二〇五教室

本願とのであい―親鸞の生涯から―

思想探究コース 三木ゼミ

芳原瑠璃果

女人成仏

思想探究コース 西本ゼミ

横山美瑠

『歎異抄』第十三章に見る死刑制度

現代臨床コース 藤元ゼミ

本谷阿人

真宗において救いとは

国際コース 井上ゼミ

廣瀬宗樹

◇第三回例会

十二月十四日(水)午後二時五十分

於 尋源講堂

『行巻』の主題と衆生の念仏

本学大学院博士後期課程第三学年

浅井竜一

『行巻』と『信巻』に現れる「阿闍世」

―『論註』八番問答の第一問答を通して―

本学大学院博士後期課程第二学年

千賀貴信

◇『親鸞教学』第一一六号発行

(十二月十五日)

〈目次〉

隆寛律師『具三心義』読解(下)―初段

『総明三心義』を読む― 木越 康

『教行信証』教巻』諸引文に関する一考察

―『如来会』・『平等覚経』を中心に―

村上無量

『誓願一仏乘』試考―『現代臨床』とい

う視点にむきあって― 藤元雅文

他力・離脱・信―親鸞とエックハルト

のあいだ― 守中高明

名号について―願生論(二十一)―

安田理深

大乘の仏弟子―天親 親鸞と天親②

莊嚴と回向―教えを生きる

加来雄之

◇第四回例会

十二月十六日(金) 午後二時四十分

於 慶聞館K二一六教室

座談会…宗教とは何か

仏学會

◇卒業論文中間発表会

十月二十五日(火)・二十八日(金)

午後一時

於 一号館一三―四教室

◇公開講演会

十一月十六日(水) 午後四時三十分

於 響流館メディアホール

釈尊伝研究から見た原始仏教の風景

東洋大学名誉教授 森 章司

社 会 学 會

◇現代社会学科講演会

十一月十日(木) 午後一時

於 講堂

障害者自立生活運動の現状

―社会からの排除に抗して

特定非営利活動法人日本自立生活

センター自立支援事業所理事長

小泉浩子

近年、障害者差別解消法の制定、障害者権利条約の批准、あるいは重度障害のある国会議員の誕生など、障害者運動の成果が見られる。その一方で、「やまゆり園事件」や「京都ALS患者囑託殺人事件」など障害者の命と尊厳の問題を問う事件もあった。この講演会では、権利獲得の歴史と障害者の置かれている実態および障害者自立生活運動の現状について、講師の体験に基づき語っていただいた。

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会

七月三十日(土) 午後一時

於 慶聞館K二〇四教室

研究課題「現如上人と北海道の開拓・開教」への取り組み過程

松金直美

きしわだ自然資料館の紹介

長谷川智子

東本願寺と京都画壇―明治度両堂再建

における障壁画制作の背景について―

國賀由美子

午後四時五十分より総会を行った。

◇大谷大学日本史の会九月例会

九月二十四日(土) 午後二時

於 慶聞館K二〇一教室

「民間私富の活用」と律令知法財政制度

増成一倫

文 藝 学 會

◇公開講演会

七月十二日(火) 午後一時

於 響流館メディアホール

『大唐三蔵取経詩話』の継子譚をめぐる

て 本学教授 浦山あゆみ

短歌の向こうに日本が見える

歌人 萩原裕幸

◇『文藝論叢』第九十九号発行

(十月A5判八十ページ)

〈目次〉

高山寺・明恵と覚嚴法眼

野村卓美

文藝學會からのお知らせ

荒畑寒村「光を掲ぐる者」総索引

倉田智輝

『大唐三蔵取経詩話』の最終段に関する

一考察

浦山あゆみ

国文学会

◇講演会

十月二十二日(土)午後一時

於 尋源講堂

先師法要嚴修

多屋頼俊先生の学恩を偲ぶ

—三十三回忌記念誌を中心にして—

本学名誉教授 石橋義秀

中国文学会

◇卒業論文中間発表会

十月二十五日(火)午後一時

於 博綜館H二〇三教室

『白蛇伝』の研究

東地琴音

乳幼児教育学会

◇『大谷大学乳幼児教育学会研究紀要』

第三号刊行(二〇二三年三月予定)に

向けて準備を進めている。